

E10 東九州自動車道 臼杵 IC～津久見 IC 間の 被災状況および復旧に関する検討について ～学識者からなる技術検討委員会を設置～

E10 東九州自動車道は、台風 10 号の大雨の影響により、8 月 29 日に切土のり面の崩壊が発生し、臼杵インターチェンジ(IC)～津久見IC間で通行止めとなっており、通行再開には期間を要する見込みです。(別紙 1) 早期の通行再開のため、西日本高速道路株式会社は、学識者による「東九州自動車道 臼杵 IC～津久見 IC 間のり面災害に関する技術検討委員会」を立ち上げ、早期復旧及び通行確保に向けて復旧に関する検討を行うこととしました。

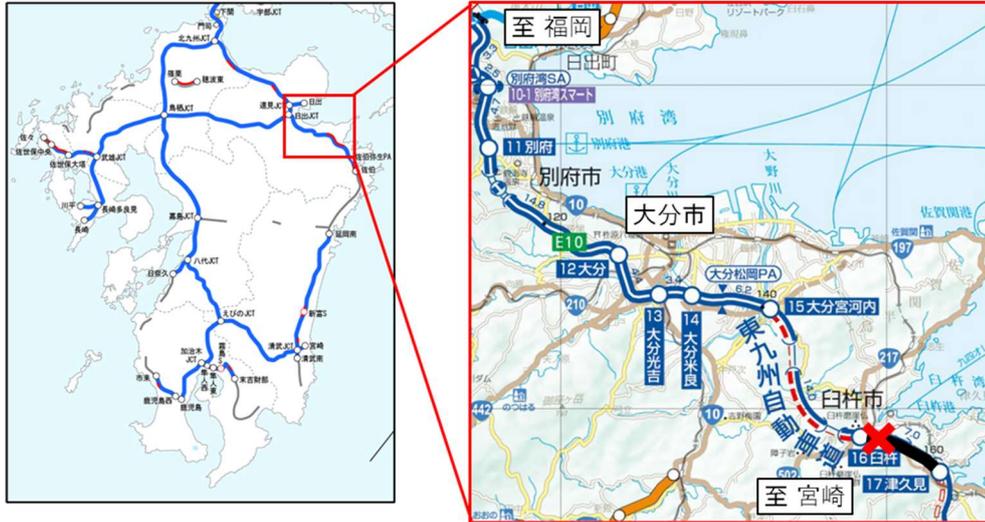
第 1 回の技術検討委員会を以下のとおり開催します。

1. 日 時 令和 6 年 9 月 3 日(火) 17:00～
2. 場 所 西日本高速道路(株)九州支社 会議室
3. 委 員 別紙 2 のとおり
4. 議 事 被害状況・原因
応急復旧方針
本復旧に向けた対策工の検討 等
5. その他 ・検討委員会は非公開で行います。
・検討委員会開催後、検討結果を公表いたします。

■被災箇所 位置図・状況

E10 東九州自動車道

臼杵IC～津久見IC間 切土のり面の崩壊



— : 通行止め区間
X : 被災箇所



(切土のり面の崩壊)

東九州自動車道 臼杵IC～津久見IC間のり面災害に関する技術検討委員会

笠間 清伸 九州大学大学院 工学研究院 教授

工藤 宗治 大分工業高等専門学校 都市・環境工学科 准教授

○ 三谷 泰浩 九州大学大学院 工学研究院 教授

三保木 悦幸 国土交通省 九州地方整備局 道路部長

(○ 委員長)

(50音順、敬称略)